



箕輪町郷土博物館だより

令和8年 秋号



博物館にある資料 これはなに??

これは足ぶみ脱穀機（あしぶみだっこき）
と言います。とげとげした部分がついているドラムが回転しているところへ稲穂をあてて、もみから穂だけを落とします。名前の通り、下の板を足で踏んでドラムを回すのでとてもエコですね。現代は化石燃料を使って稲刈り・脱穀をしていますが、こうした昔の道具から学ぶべきこともありますね。



みのわを^し知ろう

大豆の砂糖とじ

大正のころまで農家では、焙^{ほう}烙^{ろう}（素焼きの土鍋の一種）で炒^いった豆を鍋で砂糖を溶かした中へあけて良くかきまぜて、弱火でさらに溶かし水分を蒸発させると、豆はカラカラになり、それを「大豆の砂糖とじ」と言い、当時のおやつの一つでした。当時は大白（精製した純白の砂糖）などは町や村には出回らず、おもに大ダルにつめられた黒砂糖でした。それとても高価なものでなかなか買えない時代で、豆の「砂糖とじ」はとても高級なものでした。普通は豆だけ炒った中にカボチャの実やキビの粒を炒ったものを子供のおやつとして与えていました。他にまんじゅうや、かりんとうなども店にはありましたが、高価でだれもが買えるものではありませんでした。

「箕輪^{らいらい}の磊々」より



「平家物語図屏風」

がやってきた！！

10月3日(土)～12日(月・祝)

箕輪町郷土博物館で展示します！

琵琶法師が語り伝えたと言われている平家物語。
平氏と源氏のいくさの場面を描いた

「平家物語一の谷・屋島合戦屏風」

(高精細複製品)が博物館にやってきます！！

江戸時代に描かれたこの屏風は、イギリスの
大英博物館が収蔵しています。

2つの戦いの場面が詳細に描かれた平家物語図
屏風をこの機会に、ぜひご覧ください。



令和8年度 博物館特別展

身近で奥深い古絵図の世界

● 会 期 : 令和8年10月24日(土)~11月23日(月・祝)

● 会 場 : 箕輪町郷土博物館

● 開館時間: 9:00~17:00



● 休館日 : 10月26日(月)
: 11月2日・4日・9日・16日
(月) (水) (月) (月)

(●土日祝日開館しています)

● 入館料 : 無料

◎展示内容

昔の人が必要に応じて描いた古絵図を読み解き、今は失われてしまった昔の景色や人々の思いを探ります。

◎展示解説 : 11月3日(火) 午前10時~/午後2時~
展示史料の解説を学芸員が行います

◎箕輪学講座: 11月14日(土)午前10時~/午後2時~
特別展の内容をさらに詳しく解説します

??? 箕輪学クイズに挑戦 ???



(1) 箕輪町では、みんなで育てる箕輪の森づくりで「箕輪ダム」

の周辺にモミジを植えています。その際、植樹されるもみじは何モミジでしょうか。

- ① ヤマモミジ ② イロハモミジ ③ オオモミジ

(2) もみじちゃんのスカートの赤色はもみじを、靴の青色は湖の水をイメージしています。

では、洋服の緑は何をイメージしているのでしょうか？

- ① 葉っぱ ② 森林 ③ クローバー



(3) 箕輪の方言で「はーるかぶり」はどんな意味の方言でしょう？

- ① ひさしぶり ② ちょっと前 ③ 春にとれるブリ

○ こたえ ○

(1) ② 箕輪ダムはもみじ湖としても親しまれています。

秋のもみじ湖にぜひ足を運んでみて下さい。



(2) ② 洋服の緑は森林をイメージしています。

もみじちゃんにもいろいろなバージョンがあるのだからさげてみてね。



(3) ① はーるかぶりに会ったね。元気だった？！ 長い時間がたっている様子のこと。

お問い合わせは、博物館まで TEL 79-4860

発行元 箕輪町郷土博物館